

薬生食基発 1130 第 7 号
平成 30 年 11 月 30 日

各検査所長 殿

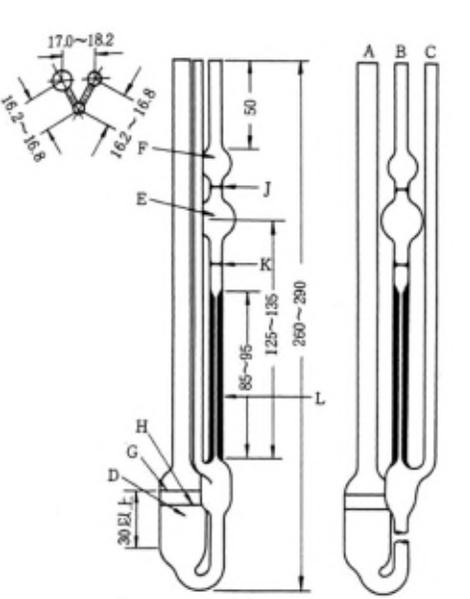
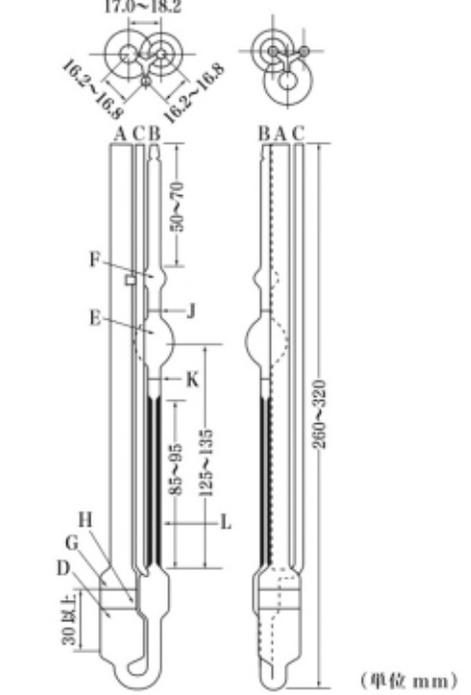
医 薬 ・ 生 活 衛 生 局
食 品 基 準 審 査 課 長
(公 印 省 略)

食品、添加物等の規格基準正誤表の送付について（その 2）

食品、添加物等の規格基準（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）については、平成 29 年 11 月 30 日付け厚生労働省告示第 345 号により、その一部を改正したが、当該改正内容の一部に誤植等があったことから、別添のとおり正誤表を送付するので、関係者への周知を行うとともに、その運用に遺漏のないよう取り計らわれない。

食品、添加物等の規格基準「第2 添加物の部」正誤表（その2）

表1 訂正が必要な箇所

分類	ページ	品名等	項目	誤	正
B 一般試験法	6230.	粘度測定法	第1法 毛細管粘度計法 装置	 <p style="text-align: right;">(単位 mm)</p>	 <p style="text-align: right;">(単位 mm)</p>
B 一般試験法	6330.	粘度測定法	第1法 毛細管粘度計法 操作法	あらかじめ蒸留水又は	あらかじめ水又は
B 一般試験法	6934.	比重測定法		試料と蒸留水のそれぞれの	試料と水のそれぞれの

B	一般試験法	6934. 比重測定法	第1法 比重瓶（ピクノメーター）による測定法	同じ比重瓶で <u>蒸留水</u> を用いて	同じ比重瓶で水を用いて
B	一般試験法	7034. 比重測定法	第2法 シュプレングル・オストワルドピクノメーターによる測定法	同じピクノメーターで <u>蒸留水</u> を用いて	同じピクノメーターで水を用いて
B	一般試験法	7435. 微生物限度試験法	1. 生菌数試験	<i>Candida albicans</i> (NBRC 1594 又は ATCC 10231) <u>Aspergillus brasiliensis</u> (NBRC 9455 又は ATCC 16404) 又はこれらと同等	<i>Candida albicans</i> (NBRC 1594 又は ATCC 10231) 及び <i>Aspergillus brasiliensis</i> (NBRC 9455 又は ATCC 16404) 又はこれらと同等
B	一般試験法	7535. 微生物限度試験法	2. 真菌（酵母及びカビ）数試験	<i>Candida albicans</i> (NBRC 1594 又は ATCC 10231) <u>Aspergillus brasiliensis</u> (NBRC 9455 又は ATCC 16404) 又はこれらと同等	<i>Candida albicans</i> (NBRC 1594 又は ATCC 10231) 及び <i>Aspergillus brasiliensis</i> (NBRC 9455 又は ATCC 16404) 又はこれらと同等
B	一般試験法	7935. 微生物限度試験法	4. サルモネラ試験	<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> serovar Typhimurium (ATCC 14028) <u>Salmonella enterica</u> subsp. <i>enterica</i> serovar Abony (NBRC 100797 又は NCTC 6017) 又はこれらと同等	<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> serovar Typhimurium (ATCC 14028) 若しくは <i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> serovar Abony (NBRC 100797 又は NCTC 6017) 又はこれらと同等
B	一般試験法	81	微生物限度試験	5. 緩衝液と培地 (2) (ix)	全成分を混和し、 <u>121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌</u> する。
B	一般試験法	8636. ヒ素試験法	図2	塩酸	<u>塩酸試液（1～6 mol/L）</u>
B	一般試験法	8636. ヒ素試験法	図2	ヨウ化カリウム <u>試液</u>	ヨウ化カリウム <u>溶液（1→10）</u>
B	一般試験法	8736. ヒ素試験法	操作法 (2)	塩酸（1～6 mol/L）	<u>塩酸試液（1～6 mol/L）</u>
C	試薬・試液等	105	アセトニトリル（HPLC用）	吸光度	<u>蒸留水</u> を対照として
					水を対照として

C 試薬・試液等	110	2-アミノ-5-スルホ安息香酸	純度試験 (2)	酢酸アンモニウム由来のピークを除いた、	酢酸アンモニウム試液 (0.02mol/L) 由来のピークを除いた、
C 試薬・試液等	121	3-[N-エチル-N-(4-スルホフェニル)アミノ]メチルベンゼンスルホン酸カルシウム	純度試験 (2)	酢酸アンモニウム由来のピークを除いた、	酢酸アンモニウム試液 (0.02mol/L) 由来のピークを除いた、
C 試薬・試液等	130	カゼイン (乳製)	☒		単位: mm
C 試薬・試液等	131	(+) -カテキン、定量用		[154-23-4]	[154-23-4、無水物]
C 試薬・試液等	133	還元型グルタチオン	乾燥減量	酸化リン	酸化リン (V)
C 試薬・試液等	134	カンパステロール	融点	160~166°C	157~160°C
C 試薬・試液等	145	コレスタノール	融点	133~138°C	138~143°C
C 試薬・試液等	146	再蒸留水		再蒸留水 蒸留水を総硬質ガラス製の蒸留装置で蒸留する。	(削除)
C 試薬・試液等	156	次亜塩素酸ナトリウム・水酸化ナトリウム試液 (アスパラギナーゼ活性試験用)		次亜塩素酸ナトリウム・水酸化ナトリウム試液 (アスパラギナーゼ活性試験用) 次亜塩素酸ナトリウム試液2.5mLに水を加えて10mLとする。この液の採取量を3mLとし、以下「次亜塩素酸ナトリウム」の定量法に準じて標定し、0.32~0.38mol/L次亜塩素酸ナトリウムになるように調製した後、適当な濃度の水酸化ナトリウム溶液を用いてpH12.5に調整する。この液3mLに水85mLを加え、適当な濃度の水酸化ナトリウム溶液を用いてpH12.5に調整した後、水を加えて100mLとす	(削除)

				る。冷暗所に保存する。	
C 試薬・試液等	158	ジエチルエーテル、ピ タミンA測定用		再蒸留水を対照にして	水を対照として
C 試薬・試液等	163	シトスタノール	融点	133～138℃	144～145℃
C 試薬・試液等	163	シトステロール	融点	136～142℃	136～146℃
C 試薬・試液等	165	2-(2,4-ジヒド ロキシ-3,5-ジヨ ードベンゾイル)安息 香酸	純度試験 (2)	酢酸アンモニウム由来のピークを除いた、	酢酸アンモニウム試液 (0.02mol/L) 由来のピー クを除いた、
C 試薬・試液等	166	2,3-ジヒドロ 2,3-ジオキソ-1 H-インドール-5- スルホン酸ナトリウム 二水和物	純度試験 (2)	酢酸アンモニウム由来のピークを除いた、	酢酸アンモニウム試液 (0.02mol/L) 由来のピー クを除いた、
C 試薬・試液等	169	弱塩基性陰イオン交換 樹脂 (OH型)		弱塩基性陰イオン交換樹脂 (OH型)	弱塩基性陰イオン交換樹脂 (遊離型)
C 試薬・試液等	172	蒸留水		蒸留水 日本薬局方精製水を用いる。	(削除)
C 試薬・試液等	213	1,10-フェナントロ リン-水和物		[3829-86-5、無水物]	[5144-89-8]
C 試薬・試液等	218	フタル酸	純度試験	安息香酸の純度試験(6)に規定する操作条件で	安息香酸の純度試験(5)に規定する操作条件で
C 試薬・試液等	219	ブラシカステロール	融点	148～154℃	130～139℃
C 試薬・試液等	220	フルオレセイン	純度試験 (2)	酢酸アンモニウム由来のピークを除いた、	酢酸アンモニウム試液 (0.02mol/L) 由来のピー クを除いた、
C 試薬・試液等	222	2-プロパノール、ピ タミンA測定用		再蒸留水を対照にして	水を対照として

C 試薬・試液等	225	ヘキサン、紫外吸収スペクトル測定用		蒸留水を対照として	水を対照として
C 試薬・試液等	227	ベンジルオキシカルボニル-L-グルタミン酸グリシン	乾燥減量	酸化リン	酸化リン (V)
C 試薬・試液等	234	2-ホルミル-5-ヒドロキシベンゼンスルホン酸ナトリウム	純度試験 (2)	酢酸アンモニウム由来のピークを除いた、	酢酸アンモニウム試液 (0.02mol/L) 由来のピークを除いた、
C 試薬・試液等	260	レバウジオンドB	食品、添加物等の規格基準「第2添加物の部」正誤表 (※)	純度試験 (1)	確認試験 (1)
C 試薬・試液等	294	4. 標準品	(6) チロシン標準品	日本薬局方チロシン標準品を用いる。	日本薬局方消化力試験用チロシン標準品を用いる。
C 試薬・試液等	294	4. 標準品	(10) パラアミノベンゾイルグルタミン酸標準品	日本薬局方パラアミノベンゾイルグルタミン酸標準品を用いる。	日本薬局方純度試験用パラアミノベンゾイルグルタミン酸標準品を用いる。
C 試薬・試液等	299	7. ろ紙	操作法	Bに蒸留水約 300mL を入れ、	Bに水約 300mL を入れ、
C 試薬・試液等	299	7. ろ紙	操作法	蒸留水が 10 分間に上昇する	水が 10 分間に上昇する
D 成分規格・保存基準各条	381	アセチル化アジピン酸架橋デンプン	純度試験 (5) (ii) 操作法	次にBに蒸留水 20mL、	次にBに水 20mL、
D 成分規格・保存基準各条	413	アルギン酸	定量法 (1) ㊦	←	←窒素
D 成分規格・保存基準各条	450	エステラーゼ	定義	動物の肝臓、魚類、糸状菌	動物の肝臓若しくは魚類又は糸状菌
D 成分規格・保存基準各条	488	カタラーゼ	定義	ブタの肝臓、糸状菌 (<i>Aspergillus aculeatus</i> 、 <i>Aspergillus awamori</i> 、 <i>Aspergillus foetidus</i> 、 <i>Aspergillus niger</i> 、 <i>Aspergillus phoenicis</i> 及	ブタの肝臓又は糸状菌 (<i>Aspergillus aculeatus</i> 、 <i>Aspergillus awamori</i> 、 <i>Aspergillus foetidus</i> 、 <i>Aspergillus niger</i> 、 <i>Aspergillus phoenicis</i> 及び

				び <i>Penicillium amagasakiense</i> に限る。)、酵母 (<i>Saccharomyces</i> 属に限る。) 又は細菌	<i>Penicillium amagasakiense</i> に限る。)、酵母 (<i>Saccharomyces</i> 属に限る。) 若しくは細菌
D 成分規格・保存基準各条	507	カルボキシペプチダーゼ	定義	及び放線菌	若しくは放線菌
D 成分規格・保存基準各条	528	キチナーゼ	キチナーゼ活性試験 法 第1法	水又は pH7.0 のリン酸緩衝液	水若しくは pH7.0 のリン酸緩衝液
D 成分規格・保存基準各条	591	ケイ皮酸	定量法	溶液 (1→10) を検液とし、	溶液 (1→100) を検液とし、
D 成分規格・保存基準各条	602	酵母細胞壁	定義	<i>Saccharomyces bayanus</i> 又は <i>Saccharomyces pastorianus</i> に限る。	<i>Saccharomyces bayanus</i> 及び <i>Saccharomyces pastorianus</i> に限る。
D 成分規格・保存基準各条	637	シアノコバラミン	定義	<i>Propionibacterium</i> 属又は <i>Rhizobium</i> 属に限る。	<i>Propionibacterium</i> 属及び <i>Rhizobium</i> 属に限る。
D 成分規格・保存基準各条	747	炭酸アンモニウム	確認試験	硫酸マグネシウム試液	硫酸マグネシウム試液 (0.5mol/L)
D 成分規格・保存基準各条	767	デキストラン	定義	<i>Leuconostoc mesenteroides</i> 又は <i>Streptococcus equinus</i> に限る。	<i>Leuconostoc mesenteroides</i> 及び <i>Streptococcus equinus</i> に限る。
D 成分規格・保存基準各条	841	1-ヒドロキシエチリデン-1,1-ジホスホン酸		$C_2H_8O_7$	$C_2H_8O_7P_2$
D 成分規格・保存基準各条	866	フィチン酸	粉末品 確認試験 (4)	この溶液をあらかじめ、弱塩基性陰イオン交換樹脂 (OH型)	この溶液を、あらかじめ弱塩基性陰イオン交換樹脂 (遊離型)
D 成分規格・保存基準各条	929	ポリアクリル酸ナトリウム	確認試験 (1)	硫酸マグネシウム試液	硫酸マグネシウム試液 (0.5mol/L)

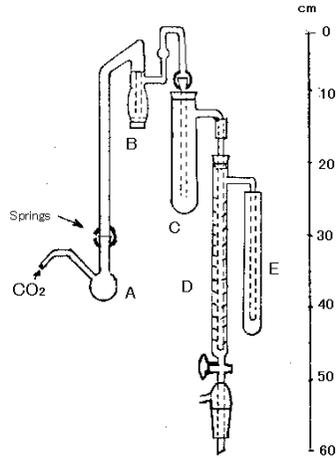
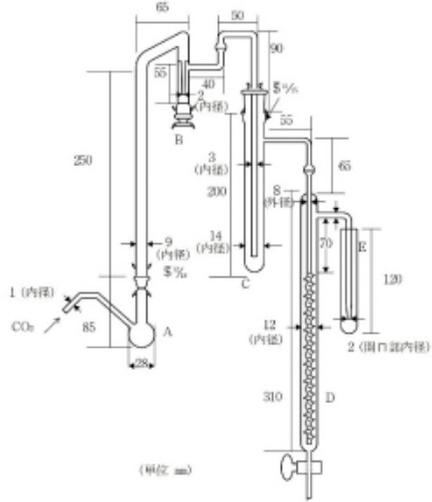
D 成分規格・保存基準各条	934	ポリソルベート 20	定量法 (1)		
D 成分規格・保存基準各条	950	マルトール	定量法	溶液 (1→10) を検液とし、	溶液 (1→100) を検液とし、
D 成分規格・保存基準各条	993	D-リボース	定義	<i>Bacillus pumilus</i> 又は <i>Bacillus subtilis</i> に限る。	<i>Bacillus pumilus</i> 及び <i>Bacillus subtilis</i> に限る。

表2 誤植等

分類	ページ	品名等	項目	旧	新
A 通則	1			A 通 則	A 通 則
B 一般試験法	6			B 一般試験法	B 一般試験法
B 一般試験法	11	3. 液体クロマトグラフィ	用語 (6) 分離係数	$\alpha = \frac{t_{R2} - t_0}{t_{R1} - t_0}$ <p>ただし、t_{R1}、t_{R2}：分離度測定に用いる二つの物質の保持時間、$t_{R1} < t_{R2}$ t_0：移動相のカラム通過時間（$k = 0$の物質の試料注入時からピークの頂点までの時間）</p>	$\alpha = \frac{t_{R2} - t_0}{t_{R1} - t_0}$ <p>ただし、t_{R1}、t_{R2}：分離度測定に用いる二つの物質の保持時間、$t_{R1} < t_{R2}$ t_0：移動相のカラム通過時間（$k = 0$の物質の試料注入時からピークの頂点までの時間）</p>
B 一般試験法	13	7. 核磁気共鳴スペクトル測定法		$\delta = \frac{\nu_S - \nu_R}{\nu_R} + \delta_R$ <p>ただし、ν_S：試料核の共鳴周波数 ν_R：基準核の共鳴周波数 δ_R：基準核の化学シフト（0でない場合）</p>	$\delta = \frac{\nu_S - \nu_R}{\nu_R} + \delta_R$ <p>ただし、ν_S：試料核の共鳴周波数 ν_R：基準核の共鳴周波数 δ_R：基準核の化学シフト（0でない場合）</p>
B 一般試験法	3623.	タール色素試験法	3. ヨウ化物	標準液のヨウ化物イオンのピーク__面積	標準液のヨウ化物イオンのピーク面積
B 一般試験法	3723.	タール色素試験法	5. 鉛	100 <u>°C</u> ～500°C	100～500°C
B 一般試験法	3823.	タール色素試験法	6. 亜鉛及び鉄	100 <u>°C</u> ～500°C	100～500°C
B 一般試験法	3923.	タール色素試験法	7. マンガン及びクロム 操作法	100 <u>°C</u> ～500°C	100～500°C
B 一般試験法	3923.	タール色素試験法	7. マンガン及びクロム 操作法	150 <u>°C</u> から 500°C	150～500°C

B 一般試験法	39	23. タール色素試験法	7. マンガン及びクロム (2)	分析線波長 <u>クロム</u> 357.9nm	分析線波長 357.9nm
B 一般試験法	45	24. タール色素製剤試験法	3. 重金属 操作法 (1)	100°C~500°C	100~500°C
B 一般試験法	46	24. タール色素製剤試験法	3. 重金属 操作法 (1)	450~550°Cで <u>1</u> 時間	450~550°Cで <u>1</u> 時間
B 一般試験法	46	24. タール色素製剤試験法	4. マンガン及びクロム (1)	100°C~500°C	100~500°C
B 一般試験法	47	24. タール色素製剤試験法	4. マンガン及びクロム (2)	分析線波長 <u>クロム</u> 357.9nm	分析線波長 357.9nm
B 一般試験法	47	25. タール色素レーキ試験法	1. 塩酸及びアンモニア不溶物	ただし、残渣が多く、	ただし、残渣が多く、
B 一般試験法	48	25. タール色素レーキ試験法	3. 鉛 操作法 (1)	100°C~500°C	100~500°C
B 一般試験法	49	25. タール色素レーキ試験法	4. 亜鉛及び鉄 操作法	100°C~500°C	100~500°C
B 一般試験法	50	25. タール色素レーキ試験法	6. ヒ素 操作法	硝酸マグネシウム六水和物・エタノール(95)溶液	硝酸マグネシウム六水和物・エタノール(95)溶液
B 一般試験法	50	25. タール色素レーキ試験法	6. ヒ素 操作法	150°C~500°C	150~500°C
B 一般試験法	55	27. 定性反応試験法	亜硫酸塩及び亜硫酸水素塩	これに硫化ナトリウム試液 <u>1</u> 滴を追加するとき	これに硫化ナトリウム試液 <u>1</u> 滴を追加するとき
B 一般試験法	56	27. 定性反応試験法	クエン酸塩	クエン酸塩の溶液 (<u>1</u> →20) 1~2滴	クエン酸塩の溶液 (<u>1</u> →20) 1~2滴
B 一般試験法	58	27. 定性反応試験法	ナトリウム塩	ヘキサヒドロキソアンチモン (V) 酸カリウム試液	ヘキサヒドロキソアンチモン (V) 酸カリウム試液

B	一般試験法	6833. pH 測定法	pH 標準液	(表) 上記各 pH 標準液の温度ごとの pH 値を次の表に示す。この表にない温度の pH 値は、表の値から内挿法により求めることができる。	上記各 pH 標準液の温度ごとの pH 値を次の表に示す。この表にない温度の pH 値は、表の値から内挿法により求めることができる。
B	一般試験法	6933. pH 測定法	装置	ガラス電極及び比較電極からなる検出部並びに検出された起電力を増幅する増幅部及び測定結果を表示する指示部	ガラス電極及び比較電極からなる検出部、検出された起電力を増幅する増幅部並びに測定結果を表示する指示部
B	一般試験法	7134. 比重測定法	第 4 法 振動式密度計による測定法 (※)	$d_{\frac{t'}{t}} = \frac{\rho_{\frac{t'}{t}}}{\rho_{s1}}$	$d_{\frac{t'}{t}} = \frac{\rho_{\frac{t'}{t}}}{\rho_{s1}}$
B	一般試験法	7435. 微生物限度試験法	1. 生菌数試験	<i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <u>aureus</u>	<i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <u>aureus</u>
B	一般試験法	7835. 微生物限度試験法	4. サルモネラ試験	菌量が多い場合には $43 \pm 0.2^\circ\text{C}$ 又は試料の菌量が少ない場合には $35 \pm 2^\circ\text{C}$	菌量が多い場合には $43 \pm 0.2^\circ\text{C}$ 、試料の菌量が少ない場合には $35 \pm 2^\circ\text{C}$
B	一般試験法	7935. 微生物限度試験法	4. サルモネラ試験	類似の選択性及び増殖性を <u>も</u> つものは	類似の選択性及び増殖性を <u>持</u> つものは
B	一般試験法	9340. 誘導プラズマ発光分光分析法		誘導結合プラズマ (ICP)	誘導結合プラズマ (ICP)
B	一般試験法	9641. 油脂類試験法	4. 水酸基価 図	<u>m</u> l	<u>m</u> l
C	試薬・試液等	100		<u>C</u> 試薬・試液等	<u>C</u> 試薬・試液等
C	試薬・試液等	100	DPD・EDTA 試液	必要な場合には、かくはんしながら加温して溶かし、	必要な場合にはかくはんしながら加温して溶かし、
C	試薬・試液等	104	2-アセチル-4-テトラヒドロキシピチルイミダゾール	[94944-70-4]	[94944-70-4]
C	試薬・試液等	106	アデノシン 3'- <u>リ</u> ン酸ナトリウム塩	$\text{C}_{10}\text{H}_{14}\text{N}_5\text{O}_7\text{P} \cdot 2\text{Na}^+$	$\text{C}_{10}\text{H}_{14}\text{N}_5\text{O}_7\text{P} \cdot 2\text{Na}$

C 試薬・試液等	106	アデノシン5'-リン酸ナトリウム塩		$C_{10}H_{14}N_5O_7P \cdot mNa^+ \cdot nH_2O$	$C_{10}H_{14}N_5O_7P \cdot mNa \cdot nH_2O$
C 試薬・試液等	109	アニリンアゾシエフアール塩色素	純度試験 (2)	それぞれ 10 μ L ずつ量り、__次の操作条件で	それぞれ 10 μ L ずつ量り、次の操作条件で
C 試薬・試液等	111	2-アミノ-5-スルホ安息香酸	純度試験 (2)	酢酸アンモニウム・テトラ- <u>n</u> -ブチルアンモニウム臭化物試液	酢酸アンモニウム・テトラ- <u>n</u> -ブチルアンモニウム臭化物試液
C 試薬・試液等	117	イオンクロマトグラフィー用精製水		電気伝導度が 1 μ S/cm 以下の	電気伝導度が 1 μ S/cm 以下の
C 試薬・試液等	129	カードラン		<i>Alcaligenes faecalis</i> <u>var.</u> <i>myxogenes</i>	<i>Alcaligenes faecalis</i> <u>var.</u> <i>myxogenes</i>
C 試薬・試液等	133	カルボキシメチルセルロース		$(C_8H_{16}O_8)_x$	$(C_8H_{16}O_8)_n$
C 試薬・試液等	134	乾燥菌体 (<i>Bacillus subtilis</i>)		121°C、20 分間高圧蒸気滅菌する。__	121°C、20 分間高圧蒸気滅菌する。__
C 試薬・試液等	138	グリチルリチン酸、薄層クロマトグラフィー用	純度試験	<u>R_f</u>	<u>R_f</u>
C 試薬・試液等	141	クレシジンスルホン酸アゾG塩色素		$C_{18}H_{13}N_2Na_3O_{11}S_3$	$C_{18}H_{13}N_2Na_3O_{11}S_3$
C 試薬・試液等	145	合成ゼオライト、乾燥用		酸化リン (Y)	酸化リン (V)
C 試薬・試液等	149	酢酸緩衝液 (0.005mol/L)		酢酸 0.30g を量り、	酢酸 0.30g を量り、
C 試薬・試液等	154	サルササポゲニン、定量用	確認試験	<u>R_f</u>	<u>R_f</u>
C 試薬・試液等	156	酸化リン (V)		酸化リン (Y)	酸化リン (V)

C 試薬・試液等	158	2, 3-ジアミノナフタレン		A液及び硝酸(1→60)	A液及び硝酸(1→60)
C 試薬・試液等	165	1, 3-ジヒドロキシナフタレン	鋭敏度	2滴に本品の硫酸(1→10000)	2滴に本品の硫酸溶液(1→10000)
C 試薬・試液等	169	1, 2-ジメトキシエタン	定量法	ポリエチレングリコール 20M	ポリエチレングリコール 20M
C 試薬・試液等	173	水酸化カリウム溶液(半導体用)	定量法	本品約 2g を精密に量り、	本品約 2g を精密に量り、
C 試薬・試液等	174	水酸化ナトリウム溶液(半導体用)	定量法	本品約 2g を精密に量り、	本品約 2g を精密に量り、
C 試薬・試液等	177	ステビオシド	確認試験 (2)	R _f	R _f
C 試薬・試液等	177	ステビオールビオシド	確認試験 (2)	R _f	R _f
C 試薬・試液等	178	ズルコシドA	確認試験 (2)	R _f	R _f
C 試薬・試液等	195	トリフェニルホスフィンオキシド	純度試験	トリフェニルホスフィンオキシドの操作条件で	トリフェニルホスフィンオキシドの操作条件で
C 試薬・試液等	198	2, 2', 2''-トリロトリエタノール		(CH ₂ CH ₂ OH) ₃ N [K8663、特級]	(CH ₂ CH ₂ OH) ₃ N [K8663、特級]
C 試薬・試液等	198	1-ニトロソ-2-ナフトール-3, 6-ジスルホン酸二ナトリウム		C ₁₀ H ₅ NNa ₂ O ₈ S ₂ [525-05-3]	C ₁₀ H ₅ NNa ₂ O ₈ S ₂ [525-05-3]
C 試薬・試液等	199	<i>o</i> -ニトロフェニルβ-D-ガラクトピラノシド		<i>o</i> -ニトロフェニルβ-D-ガラクトピラノシド	<i>o</i> -ニトロフェニルβ-D-ガラクトピラノシド

C 試薬・試液等	202	パルミチン酸 <i>p</i> -ニトロフェニル		パルミチン酸 <i>p</i> -ニトロフェニル	パルミチン酸 <u><i>p</i></u> -ニトロフェニル
C 試薬・試液等	205	<i>p</i> -ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド		<i>p</i> -ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド	<u><i>p</i></u> -ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド
C 試薬・試液等	205	<i>p</i> -ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド試液		<i>p</i> -ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド試液	<u><i>p</i></u> -ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド試液
C 試薬・試液等	205	<i>p</i> -ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド試液		<i>p</i> -ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド 0.5 g 及び	<u><i>p</i></u> -ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド 0.5 g 及び
C 試薬・試液等	205	<i>p</i> -ヒドロキシ安息香酸プロピル	定量法	<i>p</i> -ヒドロキシ安息香酸プロピルの含量を求める。	<u><i>p</i></u> -ヒドロキシ安息香酸プロピルの含量を求める。
C 試薬・試液等	215	フェルラ酸、定量用	純度試験 (2)	<u>R_f</u>	<u>R_f</u>
C 試薬・試液等	216	フェルラ酸シクロアルテニル	純度試験 (2)	<u>R_f</u>	<u>R_f</u>
C 試薬・試液等	220	フルジオキシソニル、定量用	定量法	(A1/3) / A2 <u>及び</u> (A1/3) / A3 及び A2 / A3	(A1/3) / A2 <u>、</u> (A1/3) / A3 及び A2 / A3
C 試薬・試液等	224	ヘキサニトロコバルト(III) 酸ナトリウム		Na ₃ [<u>C</u> o (NO ₂) ₆]	Na ₃ [<u>C</u> o (NO ₂) ₆]
C 試薬・試液等	230	没食子酸一水和物	定量法	銀- <u>塩</u> 化銀電極	銀- <u>塩</u> 化銀電極
C 試薬・試液等	230	ポリエチレングリコール 600	確認試験	必要な場合には、 <u>ろ</u> 過し、	必要な場合にはろ過し、
C 試薬・試液等	233	ポリビニルアルコール I 試液		必要な場合には、 <u>ろ</u> 過し、	必要な場合にはろ過し、
C 試薬・試液等	233	ポリビニルアルコール I・ポリビニルアルコール II 試液		必要な場合には、 <u>ろ</u> 過し、	必要な場合にはろ過し、

C 試薬・試液等	235	2-ホルミルベンゼン スルホン酸ナトリウム	純度試験 (2)	リン酸・テトラ- <u>n</u> -ブチルアンモニウム臭化物 試液	リン酸・テトラ- <u>n</u> -ブチルアンモニウム臭化物 試液
C 試薬・試液等	237	ムレキシド		水、エタノール(95)又はジエチルエーテル	水、エタノール(95)又はジエチルエーテル
C 試薬・試液等	246	酪酸 <i>p</i> -ニトロフェニ ル		酪酸 <i>p</i> -ニトロフェニル	酪酸 <i>p</i> -ニトロフェニル
C 試薬・試液等	246	ラクトース一水和物		[64044-51-5、 α -及び β -乳糖一水和物の混 合物] 【乳糖 <u>1</u> 水和物、乳糖】	[64044-51-5、 α -及び β -乳糖一水和物の混 合物] 【乳糖 <u>1</u> 水和物、乳糖】
C 試薬・試液等	251	硫酸鉄 (III) 試液		硫酸鉄 (III) <u>n</u> 水和物 50 g を量り、	硫酸鉄 (III) <u>n</u> 水和物 50 g を量り、
C 試薬・試液等	259	ルブソンド	確認試験 (2)	R_f	R_f
C 試薬・試液等	259	レバウジオンド A	確認試験 (2)	R_f	R_f
C 試薬・試液等	260	レバウジオンド B	確認試験 (2)	R_f	R_f
C 試薬・試液等	262	L-ロイシル- <i>p</i> -ニ トロアニリド塩酸塩		L-ロイシル- <i>p</i> -ニトロアニリド塩酸塩	L-ロイシル- <i>p</i> -ニトロアニリド塩酸塩
C 試薬・試液等	264	0.1mol/L エチレンジ アミン四酢酸二水素二 ナトリウム溶液		【0.1mol/L EDTA 溶液】	【0.1mol/L EDTA 溶液】
C 試薬・試液等	264	0.05mol/L エチレン ジアミン四酢酸二水素 二ナトリウム溶液		【0.05mol/L EDTA 溶液】	【0.05mol/L EDTA 溶液】
C 試薬・試液等	264	0.02mol/L エチレン ジアミン四酢酸二水素 二ナトリウム溶液		【0.02mol/L EDTA 溶液】	【0.02mol/L EDTA 溶液】

C 試薬・試液等	264	0.01mol/Lエチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム溶液		【0.01mol/L EDTA溶液】	【0.01mol/L EDTA溶液】
C 試薬・試液等	266	2 mol/L 塩酸		2 mol/L 塩酸 1 mL=105.99mg Na ₂ CO ₃	2 mol/L 塩酸 1 mL=105.99mg Na ₂ CO ₃
C 試薬・試液等	287	硝酸塩標準液		硝酸イオン (NO ₃) 0.1mg を含む。	硝酸イオン (NO ₃) 0.1mg を含む。
C 試薬・試液等	293	リン酸塩標準液		リン酸イオン (PO ₄) 10μg を含む。	リン酸イオン (PO ₄ ³⁻) 10μg を含む。
C 試薬・試液等	299	クロマトグラフィー用ろ紙	☒	mL	mL
C 試薬・試液等	345	ポリソルベート 20		ポリソルベート <u>20</u>	ポリソルベート <u>20</u>
C 試薬・試液等	345	ポリソルベート 60		ポリソルベート <u>60</u>	ポリソルベート <u>60</u>
C 試薬・試液等	346	ポリソルベート 65		ポリソルベート <u>65</u>	ポリソルベート <u>65</u>
C 試薬・試液等	346	ポリソルベート 80		ポリソルベート <u>80</u>	ポリソルベート <u>80</u>
C 試薬・試液等	348	DL-メチオニン		DL-メチオニン	DL-メチオニン
D 成分規格・保存基準各条	368	L-アスコルビン酸ステアリン酸エステル	定量法	必要な場合には、 <u>加温</u> して溶かし、	必要な場合には加温して溶かし、
D 成分規格・保存基準各条	370	L-アスコルビン酸パルミチン酸エステル	定量法	必要な場合には、 <u>加温</u> して溶かし、	必要な場合には加温して溶かし、
D 成分規格・保存基準各条	394	アナトー色素	ノルビキシン 確認試験 (2)	必要な場合は、 <u>遠心分離</u> 又は <u>ろ過</u> し、	必要な場合には <u>遠心分離</u> 又は <u>ろ過</u> し、
D 成分規格・保存基準各条	395	アナトー色素	ビキシン 確認試験 (2)	必要な場合には、 <u>遠心分離</u> 又は <u>ろ過</u> し、	必要な場合には <u>遠心分離</u> 又は <u>ろ過</u> し、
D 成分規格・保存基準各条	407	L-アラニン液	純度試験 (2)	必要な場合には、 <u>加温</u> して溶かし、	必要な場合には加温して溶かし、
D 成分規格・保存基準各条	414	アルギン酸アンモニウム		Ammonium <u>Alginate</u> [9005-34-9]	Ammonium <u>alginate</u> [9005-34-9]
D 成分規格・保存基準各条	415	アルギン酸カリウム		Potassium <u>Alginate</u> [9005-36-1]	Potassium <u>alginate</u> [9005-36-1]

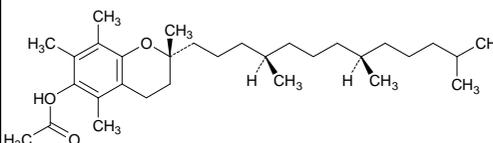
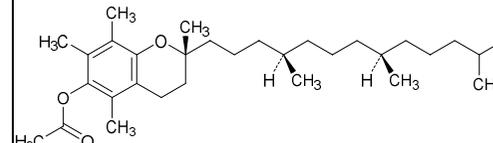
D	成分規格・保存基準各条	416	アルギン酸カルシウム		Calcium <u>Al</u> ginate [9005-35-0]	Calcium <u>al</u> ginate [9005-35-0]
D	成分規格・保存基準各条	416	アルギン酸ナトリウム		Sodium <u>Al</u> ginate [9005-38-3]	Sodium <u>al</u> ginate [9005-38-3]
D	成分規格・保存基準各条	420	安息香酸	純度試験 (4)	必要な場合は、ろ過し、	必要な場合にはろ過し、
D	成分規格・保存基準各条	421	安息香酸ナトリウム	純度試験 (7)	必要な場合には、ろ過し、	必要な場合にはろ過し、
D	成分規格・保存基準各条	439	myo-イノシトール	定義	フィチン酸を分解したものから、又は	フィチン酸を分解したもの又は
D	成分規格・保存基準各条	445	ウコン色素	確認試験 (4)	<u>Rf</u>	<u>R_f</u>
D	成分規格・保存基準各条	475	オルトフェニルフェノールナトリウム	純度試験 (2) (※)	試料の採取量 (g) 1 mol/L 塩酸の消費量 (mL) ————— 0.264	試料の採取量 (g) 1 mol/L 塩酸の消費量 (mL) ————— 0.264
D	成分規格・保存基準各条	475	オルトフェニルフェノールナトリウム	純度試験 (5)	パラフェニルフェノール及びその他の有機性不純物	p-フェニルフェノール及びその他の有機性不純物
D	成分規格・保存基準各条	480	加工ユーケマ藻類	確認試験 (2)	必要な場合には、沈殿を除き、	必要な場合には沈殿を除き、
D	成分規格・保存基準各条	481	加工ユーケマ藻類	純度試験 (3)	必要な場合には、分離液をろ過し、	必要な場合には分離液をろ過し、
D	成分規格・保存基準各条	489	活性炭	純度試験	(1)~(3)、(5)	(1)~(3)及び(5)
D	成分規格・保存基準各条	496	β-ガラクトシダーゼ	β-ガラクトシダーゼ 活性試験法 第2法	30分以内に波長 420 nm における	30分以内に波長 420nm における
D	成分規格・保存基準各条	498	カラメル I	確認試験 (2)	必要な場合には、遠心分離し、	必要な場合には遠心分離し、
D	成分規格・保存基準各条	499	カラメル I	確認試験 (3)	必要な場合には、遠心分離し、	必要な場合には遠心分離し、
D	成分規格・保存基準各条	500	カラメル II	確認試験 (3)	必要な場合には、遠心分離し、	必要な場合には遠心分離し、
D	成分規格・保存基準各条	506	カルナウバロウ	定義	(<i>Copernicia prunifera</i> (Mill.) H. E. Moore、 (<i>Copernicia cerifera</i> (Arruda) Mart.))	(<i>Copernicia prunifera</i> (Mill.) H. E. Moore (<i>Copernicia cerifera</i> (Arruda) Mart.))
D	成分規格・保存基準各条	515	カンゾウ抽出物	粗製物 確認試験	<u>Rf</u>	<u>R_f</u>
D	成分規格・保存基準各条	525	キシリトール	確認試験 (2)	酸化リン (V)	酸化リン (V)
D	成分規格・保存基準各条	529	キトサナーゼ	定義	<i>Aeromonas</i> 属、 <i>Bacillus</i> 属に限る。	<i>Aeromonas</i> 属及び <i>Bacillus</i> 属に限る。

D 成分規格・保存基準各条	530	キラヤ抽出物	確認試験 (2)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	539	クエン酸第一鉄ナトリウム		Iron(II) sodium salt	Iron(II)_sodium salt
D 成分規格・保存基準各条	543	クチナシ赤色素	定義	(<i>Gardenia jasminoides</i> J. Ellis (<i>Gardenia augusta</i> Merr.))	(<i>Gardenia jasminoides</i> J. Ellis (<i>Gardenia augusta</i> Merr.))
D 成分規格・保存基準各条	544	クチナシ黄色素	定義	(<i>Gardenia jasminoides</i> J. Ellis (<i>Gardenia augusta</i> Merr.))	(<i>Gardenia jasminoides</i> J. Ellis (<i>Gardenia augusta</i> Merr.))
D 成分規格・保存基準各条	544	クチナシ黄色素	確認試験 (3)	必要な場合には、 <u>水浴上で蒸発乾固し、</u>	必要な場合には水浴上で蒸発乾固し、
D 成分規格・保存基準各条	544	クチナシ黄色素	確認試験 (4)	必要な場合には、 <u>振り混ぜて溶かし、</u>	必要な場合には振り混ぜて溶かし、
D 成分規格・保存基準各条	544	クチナシ黄色素	確認試験 (4)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	544	クチナシ黄色素	純度試験 (3)	必要な場合には、 <u>遠心分離し、</u>	必要な場合には遠心分離し、
D 成分規格・保存基準各条	545	クチナシ黄色素	色価測定	必要な場合には、 <u>振り混ぜながら溶かし、</u>	必要な場合には振り混ぜながら溶かし、
D 成分規格・保存基準各条	545	クチナシ黄色素	色価測定	必要な場合には、 <u>遠心分離し、</u>	必要な場合には遠心分離し、
D 成分規格・保存基準各条	551	グリチルリチン酸二ナトリウム	純度試験 (3)	必要な場合には、 <u>ろ過し、</u>	必要な場合にはろ過し、
D 成分規格・保存基準各条	555	グルコアミラーゼ	グルコアミラーゼ活性試験法 第3法	<u>p</u> -ニトロフェニル- α -D-グルコピラノシド	<u>p</u> -ニトロフェニル α -D-グルコピラノシド
D 成分規格・保存基準各条	558	β -グルコシダーゼ	β -グルコシダーゼ活性試験法 第2法	<u>p</u> -ニトロフェニル- β -D-グルコピラノシド	<u>p</u> -ニトロフェニル β -D-グルコピラノシド
D 成分規格・保存基準各条	561	α -グルコシルトランスフェラーゼ	α -グルコシルトランスフェラーゼ活性試験法 第4法	水 5mL を加えたものを検液とする。	水 5mL を加えたものを検液とする。

D 成分規格・保存基準各条	564	α-グルコシルトラン スフェラーゼ処理ステ ビア	定量法 (2)	別にD (+) -グルコース約1gを精密に量り、	別にD (+) -グルコース約1gを精密に量り、
D 成分規格・保存基準各条	572	グルコン酸亜鉛		Monozinc bis(D-gluconate)trihydrate	Monozinc bis(D-gluconate)_trihydrate
D 成分規格・保存基準各条	572	グルコン酸亜鉛	定量法	必要な場合には、加温して溶かし、	必要な場合には加温して溶かし、
D 成分規格・保存基準各条	573	グルコン酸カルシウム		Monocalcium bis(D-gluconate)monohydrate	Monocalcium bis(D-gluconate)_monohydrate
D 成分規格・保存基準各条	575	グルコン酸第一鉄		Monoiron(II)bis(D-gluconate)dehydrate Monoiron(II)bis(D-gluconate)	Monoiron(II)_bis(D-gluconate)_dihydrate Monoiron(II)_bis(D-gluconate)
D 成分規格・保存基準各条	575	グルコン酸第一鉄	定量法	必要な場合には、吸引ろ過し、	必要な場合には吸引ろ過し、
D 成分規格・保存基準各条	576	グルコン酸銅		Monocopper(II)bis(D-gluconate)	Monocopper(II)_bis(D-gluconate)
D 成分規格・保存基準各条	581	L-グルタミン酸アン モニウム	確認試験 (1)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	582	L-グルタミン酸カル シウム		Monocalcium bis[monohydrogen(2S)-2- aminopentanedioate]tetrahydrate	Monocalcium bis[monohydrogen(2S)-2- aminopentanedioate]_tetrahydrate
D 成分規格・保存基準各条	584	L-グルタミン酸マグ ネシウム		Monomagnesium bis[monohydrogen(2S)-2- aminopentanedioate]tetrahydrate	Monomagnesium bis[monohydrogen(2S)-2- aminopentanedioate]_tetrahydrate
D 成分規格・保存基準各条	585	クロロフィル	確認試験 (4)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	594	酵素処理イソクエルシ トリン	確認試験 (5)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	603	コウリヤン色素	確認試験 (3)	必要な場合には、毎分 3000 回転で	必要な場合には毎分 3000 回転で
D 成分規格・保存基準各条	603	コウリヤン色素	色価測定	必要な場合には、遠心分離又はろ過し、	必要な場合には遠心分離又はろ過し、
D 成分規格・保存基準各条	603	コウリヤン色素	色価測定	測定波長 波長 500nm	測定波長 500nm
D 成分規格・保存基準各条	626	サッカリンカルシウム	純度試験 (5)	キャリアーガスヘリウム又は窒素	キャリアーガス、ヘリウム又は窒素
D 成分規格・保存基準各条	634	三二酸化鉄		Iron(III)oxide	Iron(III)_oxide

D 成分規格・保存基準各条	649	シクロデキストリン グルカノトランスフェラーゼ		Cyclodextrin glucanotransferase	Cyclodextrin glucanotransferase
D 成分規格・保存基準各条	651	L-シスチン	確認試験 (2)	必要な場合には、ろ過し、	必要な場合にはろ過し、
D 成分規格・保存基準各条	666	L-酒石酸		<u>d</u> -酒石酸	<u>d</u> -酒石酸
D 成分規格・保存基準各条	676	植物タンニン	確認試験 (3)	<u>R_f</u>	<u>R_f</u>
D 成分規格・保存基準各条	677	食用赤色 2 号	定義	3-ヒドロキシ-4- [(スルホナトナフタレン-1-イル) ジアゼニル] ナフタレン-2, 7-ジスルホン酸三ナトリウム	3-ヒドロキシ-4- [(<u>4</u> -スルホナトナフタレン-1-イル) ジアゼニル] ナフタレン-2, 7-ジスルホン酸三ナトリウム
D 成分規格・保存基準各条	677	食用赤色 2 号	含量	3-ヒドロキシ-4- [(スルホナトナフタレン-1-イル) ジアゼニル] ナフタレン-2, 7-ジスルホン酸三ナトリウム	3-ヒドロキシ-4- [(<u>4</u> -スルホナトナフタレン-1-イル) ジアゼニル] ナフタレン-2, 7-ジスルホン酸三ナトリウム
D 成分規格・保存基準各条	678	食用赤色 2 号アルミニウムレーキ	含量	3-ヒドロキシ-4- [(スルホナトナフタレン-1-イル) ジアゼニル] ナフタレン-2, 7-ジスルホン酸三ナトリウム	3-ヒドロキシ-4- [(<u>4</u> -スルホナトナフタレン-1-イル) ジアゼニル] ナフタレン-2, 7-ジスルホン酸三ナトリウム
D 成分規格・保存基準各条	690	食用赤色 106 号	純度試験 (7)	必要な場合には、超音波処理で溶かし、	必要な場合には超音波処理で溶かし、
D 成分規格・保存基準各条	695	食用黄色 5 号	純度試験 (7)	試料約 0.5 g を精密に量り、	本品約 0.5 g を精密に量り、
D 成分規格・保存基準各条	703	食用青色 2 号	純度試験 (6)	含量	含量 (%)
D 成分規格・保存基準各条	714	水酸化ナトリウム	定義	水酸化ナトリウム <u>1</u> 水和物の混合物である。	水酸化ナトリウム <u>1</u> 水和物の混合物である。
D 成分規格・保存基準各条	717	水溶性アナトー		Annato, Water-soluble	Annato, <u>Water-soluble</u>
D 成分規格・保存基準各条	717	水溶性アナトー	確認試験 (2)	必要な場合には、遠心分離又はろ過し、	必要な場合には遠心分離又はろ過し、
D 成分規格・保存基準各条	726	ステビオール配糖体	定義	<i>Stevia rebaudiana</i> (Bertoni) Bertoni	(<i>Stevia rebaudiana</i> (Bertoni) <u>Bertoni</u>)
D 成分規格・保存基準各条	727	スピルリナ色素	定義	(<i>Arthrospira platensis</i> (<i>Spirulina platensis</i>))	(<i>Arthrospira platensis</i> (<i>Spirulina platensis</i>))

D 成分規格・保存基準各条	731	セルラーゼ	セルラーゼ活性試験 法 第1法	ソモギー試液 (I)	ソモギー試液 (I)
D 成分規格・保存基準各条	733	粗製海水塩化マグネシウム	純度試験 (1)	この液 2.0mL を量り、 <u>検液</u> とする。	この液 2.0mL を量り、 <u>試料液</u> とする。
D 成分規格・保存基準各条	735	ソルビタン脂肪酸エステル	純度試験 (4)	必要な場合には、 <u>遠心分離</u> し、	必要な場合には遠心分離し、
D 成分規格・保存基準各条	738	ソルビン酸カリウム		Monopotassium(2E, 4E)-hexa-2, 4-dienoate	Monopotassium_(2E, 4E)-hexa-2, 4-dienoate
D 成分規格・保存基準各条	742	タマネギ色素	確認試験 (3)	必要な場合には、 <u>毎分3000回転</u> で10分間遠心分離を行うとき、	必要な場合には毎分 3000 回転で 10 分間遠心分離を行うとき、
D 成分規格・保存基準各条	742	タマネギ色素	色価測定	必要な場合には、 <u>遠心分離</u> し、	必要な場合には遠心分離し、
D 成分規格・保存基準各条	743	タマリンド色素	確認試験 (3)	必要な場合には、 <u>毎分 3000 回転</u> で 10 分間遠心分離を行うとき、	必要な場合には毎分 3000 回転で 10 分間遠心分離を行うとき、
D 成分規格・保存基準各条	743	タマリンド色素	色価測定	必要な場合には、 <u>毎分 3000 回転</u> で 10 分間遠心分離し、	必要な場合には毎分 3000 回転で 10 分間遠心分離し、
D 成分規格・保存基準各条	746	タール色素の製剤	確認試験	<u>R_f</u>	<u>R_f</u>
D 成分規格・保存基準各条	748	炭酸カリウム (無水)		Potassium Carbonate, Anhydrous	Potassium Carbonate, _Anhydrous
D 成分規格・保存基準各条	752	タンナーゼ	定義	<i>Aspergiillus niger var. awamori</i>	<i>Aspergiillus niger var. awamori</i>
D 成分規格・保存基準各条	753	チアベンダゾール	確認試験 (1)	<u>p</u> -フェニレンジアミン二塩酸塩	<u>p</u> -フェニレンジアミン二塩酸塩
D 成分規格・保存基準各条	762	ツヤプリシン (抽出物)	定量法	ジフェニールエーテルのピーク面積	ジフェニールエーテルのピーク面積
D 成分規格・保存基準各条	767	鉄クロロフィンナトリウム	確認試験 (1)	必要な場合には、 <u>ろ過</u> し、	必要な場合にはろ過し、
D 成分規格・保存基準各条	770	デヒドロ酢酸ナトリウム	定量法	<u>p</u> -ナフトールベンゼイン試液	<u>p</u> -ナフトールベンゼイン試液
D 成分規格・保存基準各条	773	トウガラシ色素	確認試験 (4)	<u>R_f</u>	<u>R_f</u>

D	成分規格・保存基準各条	773	銅クロロフィンナトリウム	確認試験 (1)	必要な場合には、ろ過し、	必要な場合にはろ過し、
D	成分規格・保存基準各条	782	d-α-トコフェロール酢酸エステル	食品、添加物等の規格基準「第2添加物の部」正誤表 (※)		
D	成分規格・保存基準各条	784	トマト色素	確認試験 (3)	R _f	R _f
D	成分規格・保存基準各条	784	トマト色素	色価測定	必要な場合には、遠心分離し、	必要な場合には遠心分離し、
D	成分規格・保存基準各条	784	トラガントガム	食品、添加物等の規格基準「第2添加物の部」正誤表 (※)	ト ラ ントガム	ト ラ <u>ガ</u> ントガム
D	成分規格・保存基準各条	785	トランスグルコシダーゼ	性状	液状	液体
D	成分規格・保存基準各条	786	トランスグルタミナーゼ	定義	動物の肝臓より又は	動物の肝臓又は
D	成分規格・保存基準各条	794	ナイシン	確認試験 (2)	<i>Lactococcus lactis</i> (ATCC11454 又は NCIMB8586)	<i>Lactococcus lactis</i> (ATCC 11454 又は NCIMB 8586)
D	成分規格・保存基準各条	796	ナイシン	微生物限度	白金線を用いて T S I 斜面寒天培地の	白金線を用いて T S I 斜面寒天培地の
D	成分規格・保存基準各条	797	ナイシン	定量法 (1)	<i>Micrococcus luteus</i> (ATCC10240、NCIMB8166)	<i>Micrococcus luteus</i> (ATCC 10240 又は NCIMB 8166)
D	成分規格・保存基準各条	802	ナトリウムメトキシド	定量法	0.054 × 1 mol/L 塩酸の消費量 (mL)	1 mol/L 塩酸の消費量 (mL) × 0.054
D	成分規格・保存基準各条	802	ナトリウムメトキシド	定量法	0.053 (1 - 0.1 mol/L 水酸化ナトリウム溶液の消費量 (mL) × 0.1)	(1 - 0.1 mol/L 水酸化ナトリウム溶液の消費量 (mL) × 0.1) × 0.053
D	成分規格・保存基準各条	804	ナリンジン	定義	<i>Citrus × paradisi</i> Macfad.	<i>Citrus × paradisi</i> Macfad.
D	成分規格・保存基準各条	809	二酸化チタン	純度試験 (5)	必要な場合には、加温しながら	必要な場合には加温しながら

D 成分規格・保存基準各条	810	二酸化チタン	純度試験 (5)	$C_A \times 1.889 \pm C_B \times 2.139$ 試料の採取量 (g) × 10	$C_A \times 1.889 \pm C_B \times 2.139$ 試料の採取量 (g) × 10
D 成分規格・保存基準各条	818	パーオキシダーゼ	定義	ダイズ (<i>Glycine max</i> (L.) Merr.) 又は担子菌	ダイズ (<i>Glycine max</i> (L.) Merr.) 又は担子菌
D 成分規格・保存基準各条	820	パパイン	酵素活性測定法	必要な場合には、遠心分離し、	必要な場合には遠心分離し、
D 成分規格・保存基準各条	830	パンクレアチン	パンクレアチン活性試験法 第3法	ポリビニルアルコール I	ポリビニルアルコール I
D 成分規格・保存基準各条	832	ピオチン	確認試験 (1)	p-ジメチルアミノシンナムアルデヒド試液	p-ジメチルアミノシンナムアルデヒド試液
D 成分規格・保存基準各条	837	ビタミンA脂肪酸エステル	確認試験 (1)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	838	ビタミンA油	定量法	油脂 1 g 以下を含む量を精密に量り、	油脂 1 g 以下を含む量を精密に量り、
D 成分規格・保存基準各条	840	ビートレッド	確認試験 (4)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	843	ヒドロキシプロピル化リン酸架橋デンプン	純度試験 (1)	590nm の吸光度を測定する。	波長 590nm における吸光度を測定する。
D 成分規格・保存基準各条	860	ピロリン酸二水素ナトリウム	定量法	必要な場合には、乾燥ろ紙でろ過し、	必要な場合には乾燥ろ紙でろ過し、
D 成分規格・保存基準各条	860	ピロリン酸第二鉄		Iron(III)diphosphate	Iron(III)_diphosphate
D 成分規格・保存基準各条	871	フェロシアン化カリウム		Potassium hexacyanoferrate(II) trihydrate	Potassium hexacyanoferrate(II)_trihydrate
D 成分規格・保存基準各条	872	フェロシアン化カルシウム		Calcium hexacyanoferrate(II) dodecahydrate	Calcium hexacyanoferrate(II)_dodecahydrate
D 成分規格・保存基準各条	872	フェロシアン化ナトリウム		Sodium hexacyanoferrate(II) decahydrate	Sodium hexacyanoferrate(II)_decahydrate
D 成分規格・保存基準各条	873	フクロノリ抽出物	確認試験 (3)	必要な場合には、沈殿を分離して	必要な場合には沈殿を分離して

D 成分規格・保存基準各条	875	p-ヒドロキシアニソール	純度試験 (5)	p-ヒドロキシアニソール	p-ヒドロキシアニソール
D 成分規格・保存基準各条	877	ブドウ果皮色素	純度試験 (3) 図	約 500ml	約 500mL
D 成分規格・保存基準各条	877	ブドウ果皮色素	純度試験 (3) 図	約 100ml	約 100mL
D 成分規格・保存基準各条	877	ブドウ果皮色素	純度試験 (3) 図	200ml	200mL
D 成分規格・保存基準各条	885	プルラナーゼ	プルラナーゼ活性試験法 第3法	p-ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド	p-ヒドロキシ安息香酸ヒドラジド
D 成分規格・保存基準各条	893	プロピオン酸ナトリウム	定量法	必要な場合には、加温し、	必要な場合には加温し、
D 成分規格・保存基準各条	895	ブロメライン	純度試験 (3)	必要な場合には、シリコーン樹脂 1 滴を加え、	必要な場合にはシリコーン樹脂 1 滴を加え、
D 成分規格・保存基準各条	895	ブロメライン	酵素活性測定法	必要な場合には、遠心分離し、	必要な場合には遠心分離し、
D 成分規格・保存基準各条	897	L-プロリン液	純度試験 (2)	必要な場合には、加温して溶かし、	必要な場合には加温して溶かし、
D 成分規格・保存基準各条	910	ベニコウジ黄色素	確認試験 (5)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	912	ベニバナ赤色素	確認試験 (3)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	913	ベニバナ黄色素	確認試験 (3)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	916	ヘマトコッカス藻色素	確認試験 (4)	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	927	ホスホリパーゼ	ホスホリパーゼ活性試験法 第4法	R _f	R _f
D 成分規格・保存基準各条	931	ポリイソブチレン	純度試験 (4)	必要な場合には、ろ過し、	必要な場合にはろ過し、
D 成分規格・保存基準各条	931	ポリソルベート 20		Polyoxyethylene(20)_sorbitan monolaurate	Polyoxyethylene(20)_Sorbitan Monolaurate
D 成分規格・保存基準各条	935	ポリソルベート 60		Polyoxyethylene(20)_sorbitan monostearate	Polyoxyethylene(20)_Sorbitan Monostearate
D 成分規格・保存基準各条	935	ポリソルベート 60	確認試験 (1)	本品を必要な場合には、加温して溶かし、	本品を、必要な場合には加温して溶かし、
D 成分規格・保存基準各条	936	ポリソルベート 65		Polyoxyethylene(20)_sorbitan tristearate	Polyoxyethylene(20)_Sorbitan Tristearate
D 成分規格・保存基準各条	936	ポリソルベート 80		Polyoxyethylene(20)_sorbitan monooleate	Polyoxyethylene(20)_Sorbitan Monooleate
D 成分規格・保存基準各条	942	ε-ポリリシン	確認試験 (3)	R _f	R _f

D	成分規格・保存基準各条	943	ポリリン酸カリウム	含量	酸化リン (V)	酸化リン (V)
D	成分規格・保存基準各条	944	ポリリン酸カリウム	定量法	必要な場合には、乾燥ろ紙でろ過し、	必要な場合には乾燥ろ紙でろ過し、
D	成分規格・保存基準各条	944	ポリリン酸カリウム	定量法	酸化リン (V)	酸化リン (V)
D	成分規格・保存基準各条	944	ポリリン酸ナトリウム	含量	酸化リン (V)	酸化リン (V)
D	成分規格・保存基準各条	945	マイクロクリスタリン ワックス	定義	残渣油	残渣油
D	成分規格・保存基準各条	947	マリーゴールド色素	確認試験 (3)	R _f	R _f
D	成分規格・保存基準各条	956	メタリン酸カリウム	含量	酸化リン (V)	酸化リン (V)
D	成分規格・保存基準各条	957	メタリン酸ナトリウム	含量	酸化リン (V)	酸化リン (V)
D	成分規格・保存基準各条	961	メチルセルロース	動粘度	必要な場合には、遠心分離して泡を除き、	必要な場合には遠心分離して泡を除き、
D	成分規格・保存基準各条	967	メナキノン (抽出物)	確認試験	酸化リン (V)	酸化リン (V)
D	成分規格・保存基準各条	973	ユッカフォーム抽出物	確認試験 (1)	R _f	R _f
D	成分規格・保存基準各条	973	ユッカフォーム抽出物	確認試験 (2)	R _f	R _f
D	成分規格・保存基準各条	973	ユッカフォーム抽出物	定量法	検液、標準液及び空試験液の吸光度 A _T 、A _S 及び A ₀	検液、標準液及び空試験液の吸光度 A _T 、A _S 及び A ₀
D	成分規格・保存基準各条	975	ラカンカ抽出物	確認試験 (2)	R _f	R _f
D	成分規格・保存基準各条	981	ラック色素	確認試験 (3)	R _f	R _f
D	成分規格・保存基準各条	981	ラック色素	色価測定	必要な場合には、遠心分離して上澄液を用い、	必要な場合には遠心分離して上澄液を用い、
D	成分規格・保存基準各条	985	L-リシン液	純度試験 (2)	必要な場合には、加温して溶かし、	必要な場合には加温して溶かし、
D	成分規格・保存基準各条	990	リパーゼ	リパーゼ活性試験法 第1法	ポリビニルアルコール I 試液又はポリビニルア ルコール I・ポリビニルアルコール II 試液	ポリビニルアルコール I 試液又はポリビニルア ルコール I・ポリビニルアルコール II 試液
D	成分規格・保存基準各条	991	リパーゼ	リパーゼ活性試験法 第3法	酪酸 p-ニトロフェニル又はパルミチン酸 p-ニ トロフェニル	酪酸 p-ニトロフェニル又はパルミチン酸 p-ニ トロフェニル

D 成分規格・保存基準各条	997	5´-リボヌクレオチ ド二ナトリウム	定量法 (1)	$E_{\underline{G}}$ ————×100 11800	$E_{\underline{G}}$ ————×100 11800
D 成分規格・保存基準各条	997	5´-リボヌクレオチ ド二ナトリウム	定量法 (2)	必要な場合には、 <u>遠心分離し、</u>	必要な場合には遠心分離し、
D 成分規格・保存基準各条	1000	リボフラビン酪酸エス テル	定量法	標準液の波長 445nm における吸光度 $A_{\underline{T}}$ 及び $A_{\underline{S}}$	標準液の波長 445nm における吸光度 $A_{\underline{T}}$ 及び $A_{\underline{S}}$
D 成分規格・保存基準各条	1002	硫酸亜鉛	定量法	必要な場合には、 <u>加温して溶かし、</u>	必要な場合には加温して溶かし、
D 成分規格・保存基準各条	1004	硫酸アルミニウムカリ ウム	含量	$AlK(SO_4)_2$	$AlK(SO_4)_2$
D 成分規格・保存基準各条	1007	硫酸第一鉄		Iron(II)sulfate hydrate	Iron(II)_sulfate hydrate
D 成分規格・保存基準各条	1008	硫酸銅		Copper(II)sulfate pentahydrate	Copper(II)_sulfate pentahydrate
D 成分規格・保存基準各条	1012	DL-リンゴ酸ナトリ ウム		Disodium(2RS)-2-hydroxybutanedioate trihydrate Disodium(2RS)-2-hydroxybutanedioate hemihydrate	Disodium_(2RS)-2-hydroxybutanedioate trihydrate Disodium_(2RS)-2-hydroxybutanedioate hemihydrate
D 成分規格・保存基準各条	1023	リン酸一水素マグネシ ウム	確認試験 (2)	滴下するとき黄色の沈殿を生じる。	滴下するとき、 <u>黄色の沈殿を生じる。</u>
D 成分規格・保存基準各条	1025	ルチン酵素分解物	確認試験 (4)	必要な場合には、 <u>ろ過し、</u>	必要な場合にはろ過し、
D 成分規格・保存基準各条	1025	ルチン酵素分解物	確認試験 (4)	$R_{\underline{f}}$	$R_{\underline{f}}$

(※) 食品、添加物等の規格基準正誤表の送付について（薬生食基発 0727 第 1 号）別紙で示した正誤表中の誤植等